

令和3年1月12日

お客様各位

日本クレア株式会社
東京 A D 部
大阪 A D 部

Brl:Han:WIST@Jcl(GALAS)ラットにおける変異遺伝子除去対応について

拝啓 時下ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、弊社富士山生育場で生産致しております Brl:Han:WIST@Jcl(GALAS)ラット（以下、本系統）に関しまして、数年前より異常呼吸音と共に後肢麻痺を発症する症例が報告され、原因調査を進めて参りました。

交配実験等の結果、常染色体上遺伝子の潜性突然変異により症状が引き起こされていることが判明致しました。

本系統は、毒性試験に汎用されておりますことから、お客様におきまして被験物質に起因した症状と誤認識される恐れも鑑み、コロニーから変異遺伝子を除去することとさせていただきます。

ご愛顧いただいておりますお客様には、大変ご心配、ご迷惑をお掛け致しますが状況をご理解いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 原因調査に関する経緯について

2017年頃より、ご納品個体において、12週齢以降から呼吸異常や後肢麻痺を発症する個体が2%程度出現するとのご報告をいただき、一般財団法人残留農薬研究所様にご協力をいただき発症個体の病理組織学的検査、遺伝学的解析を進めて参りました。

その結果、症状を示す個体ではヒトの遺伝性痙性対麻痺の原因遺伝子として知られる「Reep1」に突然変異が存在することが判明致しました。

2. 変異遺伝子の除去について

令和2年7月23日～9月10日まで合計8回にわたり生産種更新の候補オス個体につきましてPCRによる遺伝子診断を行ない、本突然変異のホモおよびヘテロキャリアを除去するとともに、野生型ホモ個体を選抜致しました。

次に、令和2年11月30日週から令和3年3月1日週まで合計14回にわたり生産種更新の候補メス個体につきましてPCRによる遺伝子診断を行ない、ホモおよびヘテロキャリアの除去ならびに野生型ホモ個体の選抜を行なう予定に致しております。

その後は、順次選抜した野生型ホモ個体同士の交配による個体作出を進め、令和3年6月21日週の4週齢個体からは、「*Reep1*」遺伝子に変異の無い個体をご納品させていただく予定に致しております。

コロニーからの変異遺伝子除去対応後は、繁殖、育成に関するデータに変化がないか注意深くモニターして参ります。

また、これらのデータに何らかの影響がみられると判断される場合は、速やかに情報を開示させていただきます。

以上